

2010年 7月 29日

報道関係者各位

No.-58121

株式会社 東陽テクニカ

非接触変位センサの販売を開始

(サブナノメートルオーダーの変位測定要求にも対応する高精度変位センサ)

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区・代表取締役社長:渡辺洋介)は、アメリカMTI Instruments社製非接触変位センサの販売を開始いたしました。

近年の精密変位計測の需要は、半導体をはじめとしたナノテクノロジー分野の他、精密機器、工作機械、重電、電機機器、鉄鋼、製紙、自動車などあらゆる産業にあります。当社は最高Å(10⁻¹⁰m)オーダーの精密分解能をもつ非接触変位センサを取り扱うことにより、市場の要求に応じてまいります。

ナノテクノロジー分野などの生産装置・品質検査装置には非接触変位センサが多く組み込まれています。このOEM市場は、国内で年間数十億円といわれております。MTI Instruments社は特殊なセンサ形状や高温・高真空などの耐環境性に優れる特注品の製作にも柔軟に対応することができます。当社は柔軟な特注品の提案で、このOEM市場のシェア獲得も目指します。

今回発売を開始する非接触変位センサは、<静電容量式変位センサ>と<光ファイバ式変位センサ>の2種類です。

<静電容量式変位センサ>

従来の静電容量式変位センサは、測定物が導体かつグランド(アース)がとれていないと測定できませんでした。本製品は独自の技術により半導体(半絶縁物)や誘電体でも測定が可能です。また、回転シャフトや空気軸受などグランドがとれない製品でも測定が可能です。

MTI Instruments社製の静電容量式変位センサは、半導体ウェハの厚さ測定や、自動車などのブレーキロータの厚さ測定の分野などで圧倒的なシェアを有しております。

主な仕様:測定分解能:最高0.1nm、応答周波数:最大20kHz

価 格:一式56万円(税抜)～

<光ファイバ式変位センサ>

従来の変位センサでは測定が不可能であったガラスや複合材、液体などほとんどすべての材料の測定が可能です。また、EMI(電磁波障害)の影響を受けません。

MTI Instruments社製の光ファイバ式変位センサは、ハードディスクや超音波素子、ピエゾ素子など性能評価で圧倒的なシェアを有しております。

主な仕様:測定分解能:最高0.25nm、応答周波数:最大500kHz

価 格:一式152万円(税抜)~

販売目標:初年度、OEM市場の0.5億円を含む計1億円、

次年度、OEM市場の1.2億円を含む計2億円

発売日:2010年4月より出荷開始済み

紹介ウェブサイト: <http://www.toyo.co.jp/car/MTI/>

【製品画像:静電容量式変位センサ】



【製品画像:光ファイバ式変位センサ】



MTI Instruments社について

NASDAQ上場の親会社であるMTI社(Mechanical Technology, Inc.)のセンサ部門が独立し、1961年にニューヨーク州アールバニに設立されました。1968年に世界で初めて光ファイバを用いた計測用センサを出荷するなど、非接触変位センサのリーディングカンパニーとして活動しております。東陽テクニカは2010年3月から同社の日本における総代理店となっております。

MTI Instruments社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 営業第2部 栗原 大

Tel:03-3245-1242 Fax:03-3246-0645 e-mail: MTI@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

(注) 本リリースに記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。